

(仮称)まちだ健康づくり推進プラン 24-31 の策定について

1 計画の目的・位置づけ等

(1) 計画策定の目的

2018年に策定した「まちだ健康づくり推進プラン（第5次町田市保健医療計画）」（以下、「現行計画」とする。）に基づき、健康づくりの推進、母子保健事業の充実や衛生的な生活環境の確保などの取り組みを推進してきました。

これまで進めてきた現行計画の成果や新たに生じた課題及び社会状況を踏まえて、まちだ健康づくり推進プランの基本理念である“みんなでつくる「健康のまち」まちだ”を実現するため、「(仮称)まちだ健康づくり推進プラン 24-31」（以下、「次期計画」とする。）を策定します。

次期計画は、国や東京都の関連する法令や計画との整合性を図り、近年の社会状況の変化等を踏まえ、これからの町田市の保健・医療分野における施策の方向性を示すものです。

(2) 現行計画と町田市自殺対策計画及び町田市食育推進計画の統合の狙い

次期計画では、同時期の2023年度に計画の最終年度を迎える町田市自殺対策計画及び町田市食育推進計画の後続計画を統合します。統合の狙いは以下の2点です。

I 誰にも見やすく分かりやすい計画の策定 ※資料 4 - 3 ポイント③

現行計画では、自殺対策、食育は別に計画を策定していたことから、詳細な取り組みを把握するためには複数の計画を確認する必要があり、また各分野の関連性が捉えにくくなっていました。

計画の統合により、保健・医療、自殺対策と食育の取り組みを整理し、計画体系を一体化することで、誰もがひと目で計画の全体像が把握できる分かりやすい計画にします。

II 包括的なサービスの実現 ※資料 4 - 3 ポイント④

保健・医療、自殺対策と食育それぞれの課題を分野横断的に整理し、連携して取り組みを実施します。自殺対策とこころのケア（保健・医療）には関連があり、食事と健康にも関連があります。市民の心身の健康を守るため、次期計画で目指す姿を一体的に捉え、それぞれの強みを活かしながら分野を横断した取り組みを展開し、これまで以上に包括的なサービスを市民に届けます。

(3) 計画の位置づけ

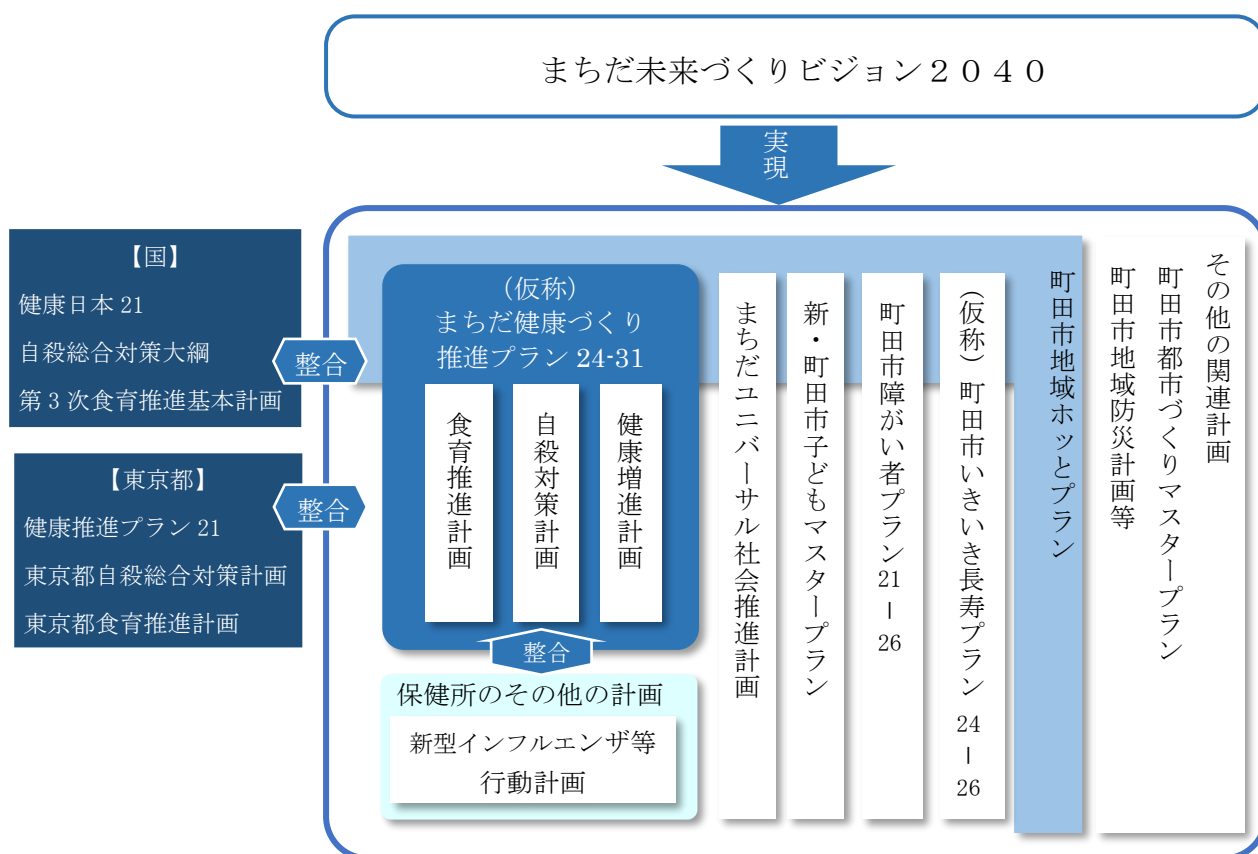
◆法的根拠

健康増進法第 8 条第 2 項に基づく「市町村健康増進計画」、自殺対策基本法第 13 条第 2 項に基づく「市町村自殺対策計画」、食育基本法第 18 条に基づく「市町村食育推進計画」として位置づけます。

計画の名称については、これまで「町田市保健医療計画」としていましたが、医療法に基づき都道府県が定める医療計画と区別するため、「(仮称) まちだ健康づくり推進プラン 24-31」と改めます。

◆市の上位計画、その他の計画との関係

町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン 2040」、町田市地域福祉計画である「町田市地域ホッとプラン」を上位計画とし、各部署が所管する関連計画との整合を図ります。



(4) 計画期間

本計画の期間は、「まちだ未来づくりビジョン2040」の基本計画部分と計画の最終年度を合わせ、2024年度から2031年度までの8年間とします。なお、計画で掲げる目標の達成状況や、国・東京都の動向、社会経済環境の変化等を踏まえ、必要な場合は適宜見直す他、2027年度に中間確認を実施し、2028年度からの計画に反映します。

| 年度 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 | 2031 |
|-----------|--------------------------------|------|--|------|------|------|------|------|------|------|
| 基本計画・基本構想 | まちだ未来づくりビジョン 2040【基本計画部分】(10年) | | | | | | | | | |
| 地域福祉計画 | 町田市地域ホッとプラン(10年) | | | | | | | | | |
| 健康増進計画 | 第5次(6年) | | (仮称) まちだ健康づくり推進プラン 24-31 (8年) ※2027年度に中間確認を実施 | | | | | | | |
| 自殺対策計画 | 第1次(5年) | | | | | | | | | |
| 食育推進計画 | 第2次(5年) | | | | | | | | | |

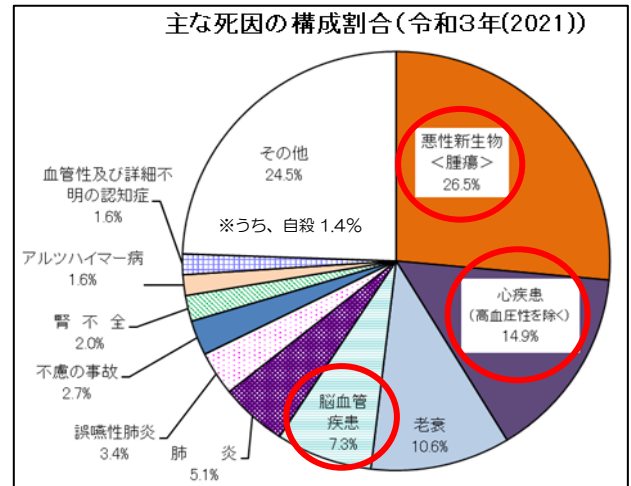
2 社会状況、町田市の現状

(1) 特徴的な社会状況

◆現行計画策定時から継続しているもの

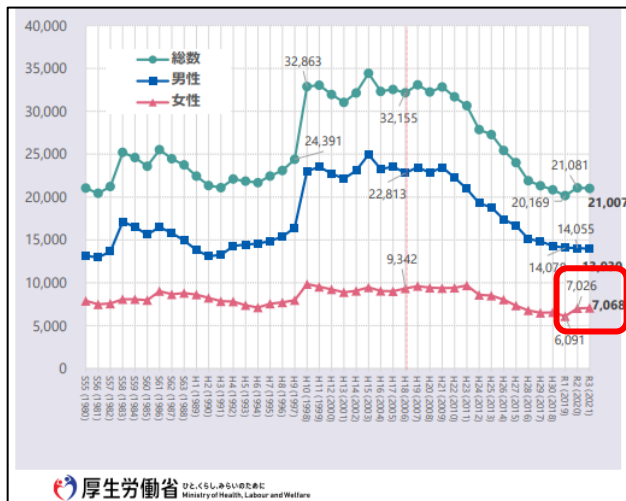
※資料4-3 ポイント①及び⑤

- 厚生労働省の人口動態統計月報年計によると、日本人の死亡要因は生活習慣が影響する疾患である「悪性新生物」、「心血管疾患」、「脳血管疾患」の合計で半数を占めています。
- 自殺者は2万人を超える水準で推移しています。特に女性は2020年以降、2年連続の増加、小中高生は2020年に過去最多となっています。

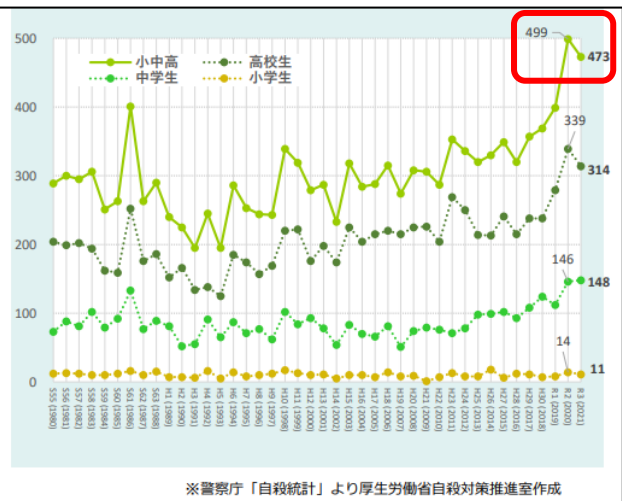


※国「令和3年人口動態統計月報年計(概数)の概況」

<自殺者総数・男女別の推移>



<小・中・高生の自殺者数の推移>



- 2022年の国の食育白書においても、2016年から引き続き、子どもや若い世代の朝食の欠食や食事バランスの乱れ等が問題として捉えられています。
- 2018年北海道胆振東部地震や2022年福島県沖地震などの大きな震災や、2019年の令和元年東日本台風などの温暖化による台風や豪雨の風水害が、引き続き多発しています。

◆現行計画策定以降に新たに生じたもの

※資料4-3 ポイント②

- 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、生活様式の変化による交流や運動量の低下が懸念されているとともに、新興感染症対策の重要性が再認識されています。また、感染拡大を防止するため、非接触、非対面で仕事や手続等を実施できる、テレワークやオンライン申請・面接などのデジタル化の取り組みを国が推進しており、行政を含めた社会全体のDX(デジタルトランスフォーメーション)が加速しています。

(2) 国や東京都の計画及び関連法の主な動向 ※資料4-3 ポイント⑤

<国や東京都の計画>

| 年度 | 計画名 | | 内容 |
|------|-----|----------------------|--|
| 2019 | 国 | 健康寿命延伸プラン | 【策定】健康寿命を2040年までに、2016年比で3年以上延伸し、男女とも75歳以上にすることを目標。 |
| | 国 | 健やか親子21 (第二次) | 【中間評価】妊産婦メンタルヘルスケアの取り組みや、父親の育児参加に関する状況の変化などを課題。 |
| | 都 | 東京都子供・子育て支援総合計画(第2期) | 【策定】目標として地域における妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の仕組みづくりなどを位置づけ。 |
| 2020 | 国 | 第4次食育推進基本計画 | 【策定】「新たな日常」においても食育を着実に実施し、ICT等のデジタル技術を有効活用して効果的な情報発信を行うことを重点事項として明示。 |
| | 都 | 東京都食育推進計画 | 【策定】ライフスタイルに応じた食育、生産現場等での体験を通じた食育、デジタルテクノロジーを駆使した新しい日常に対応した食育を推進。 |
| 2022 | 国 | 自殺総合対策大綱 | 【閣議決定】子ども・若者の自殺対策の更なる推進・強化や女性に対する支援の強化などを通して、総合的な対策を更に強化。 |

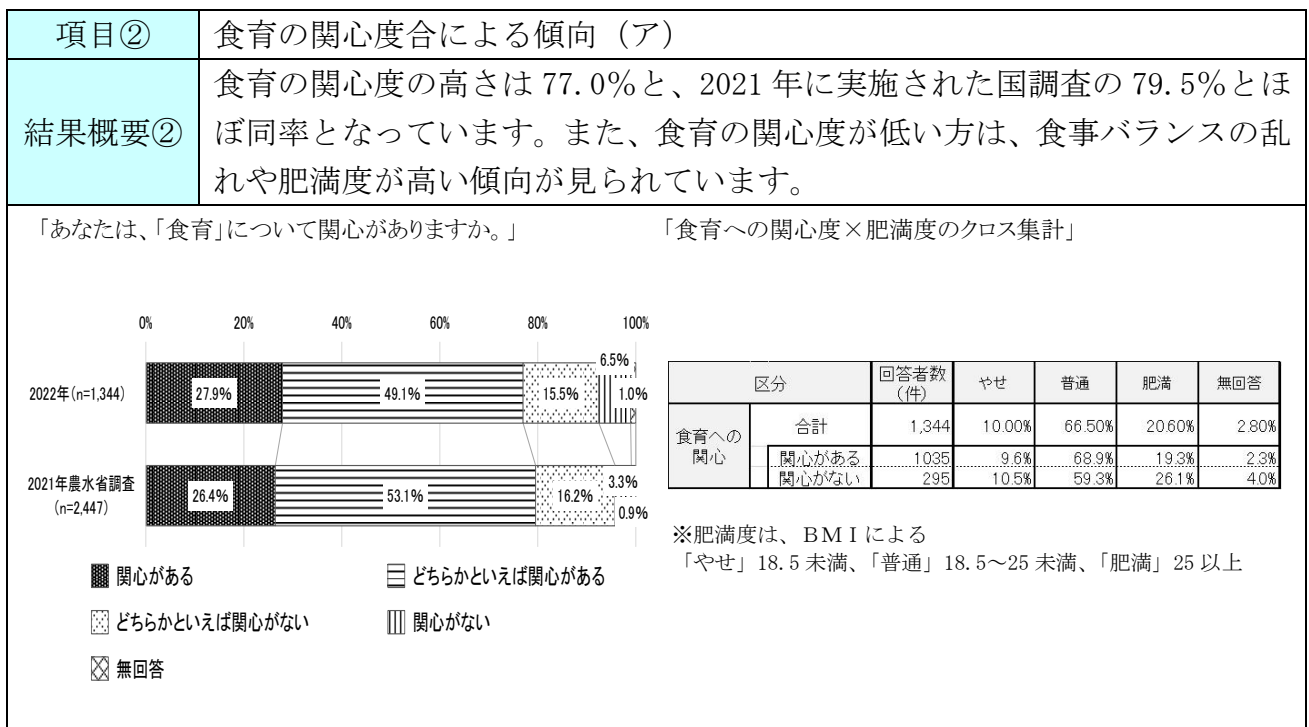
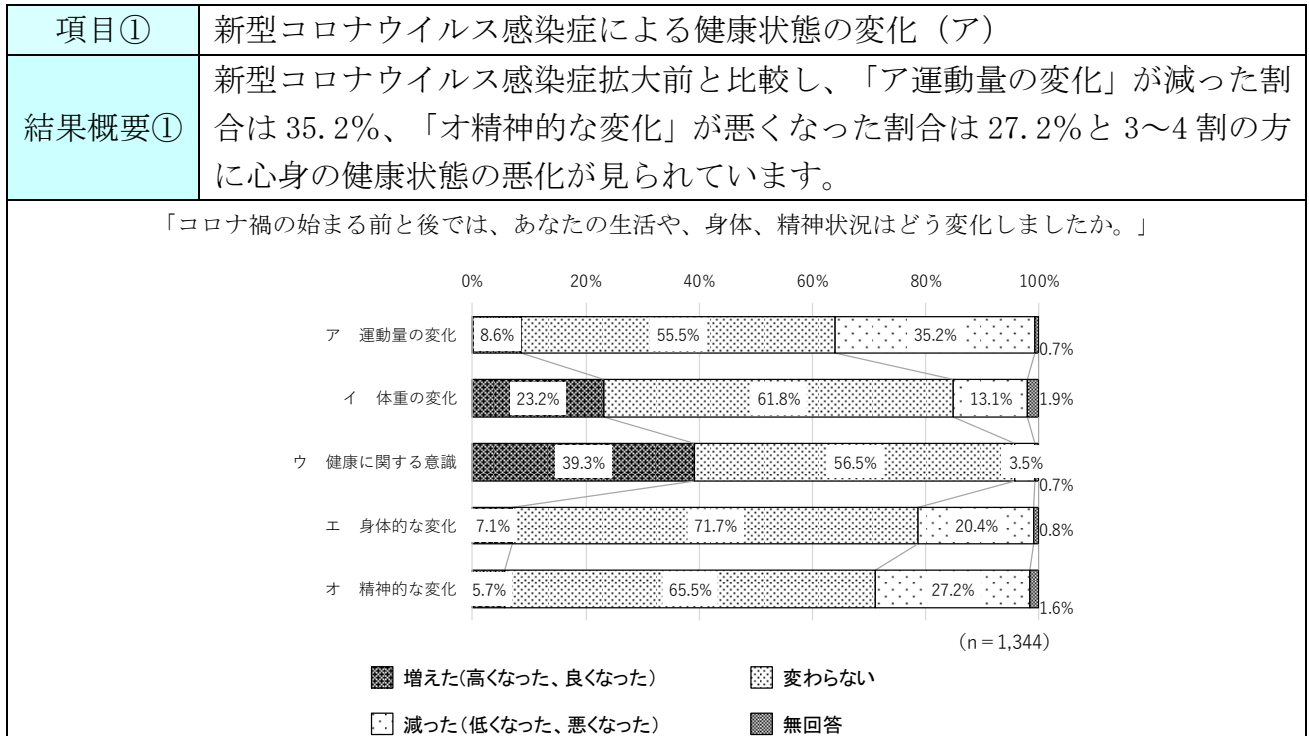
<関係法の動向>

| 年度 | 法令名 | 内容 |
|------|---|--|
| 2022 | 母子保健法 児童福祉法 | 【改正】 <u>市町村において、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援等を行うことを努力義務化。</u> |
| | 感染症法 正式名称：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 | 【改正】2024年4月1日から、 <u>保健所設置市において、感染症に関する予防計画の策定を義務化。</u> |

(3) 町田市の現状(「町田市民の保健医療意識調査」の結果の概要)

2022年8月に、無作為抽出の市民5000人を対象に、保健・医療に関する調査を行い、2546人から回答がありました。主な調査結果は、次のとおりです。

(ア) 前回2016年調査から追加した項目、(イ) 国や東京都との差異が見られた項目、(ウ) 前回の調査と大きく差異が見られた項目を掲載しています。



| <p>項目③</p> <p>結果概要③</p> | <p>自殺対策への関心（ア）（イ）</p> <p>自殺対策を自分事と捉える人の割合は24.6%と、2021年都調査の58.6%より34ポイント低くなっています。また、他者への相談や助けをためらう人の割合は47.2%と、2021年に実施された国調査の38.8%より8.4ポイント高くなっています。町田市の自殺死亡率は、現行計画策定時から下がっていますが、自殺対策へ関心を持つ人や他人への相談しやすい人の割合は、国や東京都より低くなっています。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------------|--------------|--------------|-----------|--------|-----|-----------------|------|-------|-------|-------|------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|------|-----|------|------------|--------------|--------|-------|-----|-----------------|-------|-------|-------|-------|------|------|------------------------------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| <p>「自殺対策は自分自身に関わる問題と思うかどうか。」</p> <p>「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることによってためらいを感じる。」</p> <table border="1"> <caption>「自殺対策は自分自身に関わる問題と思うかどうか。」</caption> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかといえばそう思う</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年 (n=1,344)</td> <td>8.6%</td> <td>16.0%</td> <td>35.0%</td> <td>37.8%</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>2021年都福祉保健モニター調査 (n=358)</td> <td>23.7%</td> <td>34.9%</td> <td>22.1%</td> <td>17.3%</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることによってためらいを感じる。」</caption> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかというと思う</th> <th>どちらかというと思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>わからない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年 (n=1,344)</td> <td>16.0%</td> <td>31.2%</td> <td>23.2%</td> <td>23.2%</td> <td>4.8%</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>2021年国自殺対策に関する意識調査 (n=2,009)</td> <td>13.1%</td> <td>25.7%</td> <td>22.4%</td> <td>29.3%</td> <td>5.7%</td> <td>3.7%</td> </tr> </tbody> </table> | | 調査年 | そう思う | どちらかといえばそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 無回答 | 2022年 (n=1,344) | 8.6% | 16.0% | 35.0% | 37.8% | 2.6% | 2021年都福祉保健モニター調査 (n=358) | 23.7% | 34.9% | 22.1% | 17.3% | 2.0% | 調査年 | そう思う | どちらかというと思う | どちらかというと思わない | そう思わない | わからない | 無回答 | 2022年 (n=1,344) | 16.0% | 31.2% | 23.2% | 23.2% | 4.8% | 1.6% | 2021年国自殺対策に関する意識調査 (n=2,009) | 13.1% | 25.7% | 22.4% | 29.3% | 5.7% | 3.7% |
| 調査年 | そう思う | どちらかといえばそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 無回答 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2022年 (n=1,344) | 8.6% | 16.0% | 35.0% | 37.8% | 2.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2021年都福祉保健モニター調査 (n=358) | 23.7% | 34.9% | 22.1% | 17.3% | 2.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調査年 | そう思う | どちらかというと思う | どちらかというと思わない | そう思わない | わからない | 無回答 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2022年 (n=1,344) | 16.0% | 31.2% | 23.2% | 23.2% | 4.8% | 1.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2021年国自殺対策に関する意識調査 (n=2,009) | 13.1% | 25.7% | 22.4% | 29.3% | 5.7% | 3.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| <p>項目④</p> <p>結果概要④</p> | <p>妊娠中の市（保健所）の保健師等との面談や相談をした人の割合（ウ）</p> <p>妊娠中に市の保健師等と面接や相談をした人は、57.4%と、前回2016年調査時の15.4%と比較して、42ポイント高くなっています。一方で、地域の子育てに関するサークルやグループに参加されている人は、2016年調査と比較すると、「している」の割合が20.1%から8.7%に11.4ポイント減少しており、子育てをする保護者の孤立化も懸念されます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------|------|-------|-----|---------------|-------|-------|------|---------------|-------|-------|------|-----|------|-------|-----|---------------|------|-------|------|---------------|-------|-------|------|
| <p>「「あて名のお子さん」を妊娠中に市（保健所）の保健師等と面接や、相談をしましたか。」</p> <p>「あなたは、現在住んでいる地域の子育てに関するサークルやグループに参加されていますか。」</p> <table border="1"> <caption>「「あて名のお子さん」を妊娠中に市（保健所）の保健師等と面接や、相談をしましたか。」</caption> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>した</th> <th>していない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年 (n=618)</td> <td>57.4%</td> <td>41.9%</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>2016年 (n=611)</td> <td>15.4%</td> <td>83.1%</td> <td>1.5%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>「あなたは、現在住んでいる地域の子育てに関するサークルやグループに参加されていますか。」</caption> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>している</th> <th>していない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年 (n=618)</td> <td>8.7%</td> <td>90.9%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>2016年 (n=611)</td> <td>20.1%</td> <td>79.7%</td> <td>0.2%</td> </tr> </tbody> </table> | | 調査年 | した | していない | 無回答 | 2022年 (n=618) | 57.4% | 41.9% | 0.6% | 2016年 (n=611) | 15.4% | 83.1% | 1.5% | 調査年 | している | していない | 無回答 | 2022年 (n=618) | 8.7% | 90.9% | 0.3% | 2016年 (n=611) | 20.1% | 79.7% | 0.2% |
| 調査年 | した | していない | 無回答 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2022年 (n=618) | 57.4% | 41.9% | 0.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2016年 (n=611) | 15.4% | 83.1% | 1.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調査年 | している | していない | 無回答 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2022年 (n=618) | 8.7% | 90.9% | 0.3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2016年 (n=611) | 20.1% | 79.7% | 0.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 現行計画の評価等 ※資料4-3 ポイント⑤

「まちだ健康づくり推進プラン」、「町田市自殺対策計画」、「町田市食育推進計画」について、2021年度までの事業結果及び2022年8月に実施した町田市民の保健医療意識調査結果を踏まえ、評価しました。

(1)「まちだ健康づくり推進プラン」の2021年度までの評価

①基本目標1「健康に生活できるまちをつくる」

市民の健康づくりに関する情報発信や普及啓発の実施、妊娠中の市の相談窓口の認知度の向上などについては、目標を達成しました。一方で、運動習慣者の割合やがん検診受診率などは、目標の達成には至りませんでした。これは新型コロナウイルス感染症による外出機会の減少や受診控え、対面訪問への不安などが原因と考えられます。

②基本目標2「安心できる医療があるまちをつくる」

救急に関する普及啓発、災害時の医療救護に関する準備会議や対策訓練の実施については、目標を達成しました。一方で、災害時の医療機関の役割分担、医療安全相談窓口、東京都救急受診ガイド等の認知度向上については、目標の達成に至りませんでした。これは、普及啓発事業が、認知度の向上につながらなかったことが原因と考えられます。

③基本目標3「健康的な生活環境を備え人と動物が共生しているまちをつくる」

公衆浴場等に対する定期水質検査実施率などの取り組みは目標を達成しました。一方で、食品衛生講習開催回数や登録犬の狂犬病予防接種注射接種率などは、目標達成には至りませんでした。これは、対面集合形式による講習会や予防接種の集合注射が、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実施できなかったことが原因と考えられます。

| No. | 取り組みの目標 | 結果 |
|--|------------------------------------|----|
| 基本目標1「健康に生活できるまちをつくる」 | | |
| 1 | 市民の健康づくりに関する情報発信や普及啓発の実施 | ○ |
| 2 | 妊娠中の市の相談窓口の認知度や乳幼児健診受診率の向上 | |
| 3 | 運動習慣者の割合や新生児訪問の訪問率の向上 | × |
| 4 | がん検診の受診率の向上 | |
| 基本目標2「安心できる医療があるまちをつくる」 | | |
| 1 | 救急に関する普及啓発、災害時医療救護に関する準備会議や対策訓練の実施 | × |
| 2 | 1次・2次・3次医療機関の役割分担の認知度の向上 | |
| 3 | 医療安全相談窓口や東京都救急受診ガイドの認知度の向上 | |
| 基本目標3「健康的な生活環境を備え人と動物が共生しているまちをつくる」 | | |
| 1 | 公衆浴場等に対する定期水質検査の100%実施 | ○ |
| 2 | 食品衛生講習開催回数の維持 | |
| 3 | 登録犬の狂犬病予防接種注射接種率の維持 | × |

| No. | 取り組みの目標 | 結果 |
|----------------------------------|------------------------------------|----|
| 基本目標1「生きることの促進要因を増やす」 | | |
| 1 | 自殺対策普及啓発キャンペーンや市民向けのゲートキーパー養成講座の実施 | ○ |
| 2 | 相談のあった生活困窮者に向けた支援プランの作成率の向上 | |
| 基本目標2「生きることの阻害要因を減らす」 | | |
| 1 | 仕事と心に関する総合相談会の実施 | ○ |
| 2 | SNS自殺防止相談事業の実施 | |
| 基本目標3「関係機関が連携して自殺対策を推進する」 | | |
| 1 | 地域ネットワーク向けのゲートキーパー養成講座の実施 | ○ |
| 2 | 自殺対策推進協議会の開催 | |

(2)「町田市自殺対策計画」の2021年度までの評価

①基本目標1「生きることの促進要因を増やす」

自殺対策普及啓発キャンペーンや市民向けのゲートキーパー養成講座の実施については、目標を達成しました。一方で、生活困窮者に向けた支援プランの作成については、目標の達成には至りませんでした。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に増加した新規相談件数に対し、支援プランの作成まで至らなかった件数が増えたことが原因と考えられます。

②基本目標2「生きることの阻害要因を減らす」

総合相談会の実施やSNS自殺防止相談事業などの目標を達成しました。

③基本目標3「関係機関が連携して自殺対策を推進する」

全ての取り組みで、目標を達成しました。

(3)「町田市食育推進計画」の2021年度までの評価

①基本目標1「安全で望ましい食生活をおくる」

広報誌の発行といった食育の普及啓発事業は、目標を達成しました。一方で、食生活習慣の改善を測る指標である、朝食を欠食する人の割合については、本人に時間のゆとりがないことなどから、目標の達成に至りませんでした。

②基本目標2「食を通じて家族や地域とつながる」

地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている割合は、目標を達成しました。これは、コロナ禍において家庭で食事をする機会が増えたことによると考えられます。

朝食又は夕食を誰かと一緒に食べる割合は、目標の達成には至りませんでした。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、社会的距離を保つことを求められたこと等が原因と考えられます。

③基本目標3「地域の恵みに感謝して食をたのしむ」

地産地消に関する目標を達成しました。これは、給食施設、保育園、小学校等の給食に「まちだすいとん」を取り入れるなど、教育委員会等と連携して事業を行うことができたためです。一方で、事業者関連の事業は目標達成には至りませんでした。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業者との連携や施設巡回が難しかったためです。

| No. | 取り組みの目標 | 結果 |
|-------------------------|-------------------------------------|----|
| 基本目標1「安全で望ましい食生活をおくる」 | | |
| 1 | 市民に対する食の安全情報に関する広報誌の延べ発行部数の増加 | ○ |
| 2 | 朝食を欠食する人の割合(20代)の減少 | × |
| 基本目標2「食を通じて家族や地域とつながる」 | | |
| 1 | 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理・作法等を継承、伝えている割合 | ○ |
| 2 | 朝食又は夕食を誰かと一緒に食べる「共食」の割合(成人)の増加 | × |
| 基本目標3「地域の恵みに感謝して食をたのしむ」 | | |
| 1 | 地産地消を促進するまちベジ給食の実施回数、まちだすいとんの提供数の増加 | ○ |
| 2 | スーパー等との事業者と連携した食に関する啓発活動の増加 | × |

(4)その他、留意すべき事項

| 事項 | 内容 |
|-------------|---|
| 2つの保健所施設の集約 | 町田市の保健所施設のうち、健康福祉会館の建築年度は1988年度、保健所中町庁舎は1973年度であり、建築から35～50年経過し、老朽化しています。これらの保健所施設の集約や再建を含め、保健所施設機能のあり方を検討する必要があります。詳細は、別途策定された町田市町田駅周辺公共施設再編構想に基づき、検討します。 |
| 母子保健機能の移転 | 町田市では、子ども・子育てに関する体制を充実させるための取り組みとして、関連する機能を現在の町田市教育センターへ移転・集約することを検討しています。移転する機能として、保健所の母子保健機能が候補の1つとなっています。このうち、移転先の施設整備に関する詳細は、(仮称)町田市子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画で検討します。 |

4 町田市の課題

2章から3章までを踏まえた、町田市の主な課題は以下のとおりです。

| 課題 | 理由 |
|---|---|
| <p>妊娠・出産・子育て 世代の支援</p> <p>※【関連項目】</p> <p>P.4:2-(1)</p> <p>P.6:2-(3)</p> | <p>妊娠中の市の相談窓口の認知度や乳幼児健診受診率の向上は、目標を達成しており、保健医療意識調査でも、妊娠中に市の保健師と面談や相談した人の割合が前回調査より高くなっています。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、町田市では、地域の子育てサークルなどへ参加する方の割合が減少しており、子育てをする保護者の孤立化も懸念されます。子育て世代が安心して、妊娠・出産・子育てができるよう、引き続き、妊娠早期からの支援に取り組んでいく必要があります。</p> |
| <p>生活習慣の改善</p> <p>※【関連項目】</p> <p>P.4:2-(1)</p> <p>P.8:3-(1)</p> | <p>現行計画では、死亡要因となる疾患を防止するため、生活習慣の改善に関する普及啓発を実施しているものの、運動習慣者の増加といった生活習慣の改善につながる指標について、目標を達成できていません。日本人の死亡要因に大きな変動はないため、引き続き実施方法を見直しながら、健康づくりの普及啓発や、がん検診・健康診査の受診勧奨を行っていく必要があります。</p> |
| <p>食育の推進</p> <p>※【関連項目】</p> <p>P.6:2-(3)</p> <p>P.9:3-(3)</p> | <p>町田市食育推進計画で目標達成に至らなかった食生活習慣を改善することや、増加している孤食・欠食を減らしていくことを引き続き課題と捉え、関係機関・部署とともに普及啓発に取り組む必要があります。また、保健医療意識調査の結果から、食育と健康との関連が見えたため、食事で市民の健康につなげるためにも、年代、性別、生活環境及び健康状態に対応した食体験事業や普及啓発に取り組んでいく必要があります。</p> |
| <p>自殺対策の推進</p> <p>※【関連項目】</p> <p>P.4:2-(1)</p> <p>P.6:2-(3)</p> | <p>町田市の自殺者数は減少傾向にある一方で、自殺問題を自分事と捉える人が少なく、他者への相談や助けをためらう人の割合が高い傾向です。また、国では女性や小中高生の自殺者数が過去最多の水準となっており、町田市においても、20歳未満や女性の自殺者数が増加しています。このため、気付きと見守りの促しや子ども・若者の自殺対策の更なる推進・強化、女性に対する支援の強化など、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた総合的な自殺対策の更なる推進・強化に取り組んでいく必要があります。</p> |
| <p>大規模災害や 新興感染症対策</p> <p>※【関連項目】</p> <p>P.4:2-(1)</p> | <p>今後起こり得る新興感染症に備えるために、新型コロナウイルス感染症対応の経験、国と東京都の行動方針を踏まえた町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定が必要です。また、保健医療意識調査では、災害発生時の医療体制の認知度が現計画策定時から向上しておらず、普及啓発の手法を見直す必要があります。</p> |

5 策定方針 ※資料4-3 体系骨子

社会的背景、国・東京都の動向や現行計画の評価から捉えた課題を踏まえ、“みんなでつくる「健康のまち」まちだ”の実現に向け、「誰もが」すこやかで、「どんなときも」安全・安心であることを目指し、7つの目標を定めました。

特に、市民が安心して子育てができる支援、健康とのつながりの深い食育の推進、女性・子どもの自殺者増加という新たな傾向がみられる自殺対策、近年頻発している大規模災害・新興感染症対策の4つを重点項目としました。また、新型コロナウイルス感染症の経験から、デジタル化を意識し施策を展開します。

◆基本目標1 誰もがすこやかな暮らしができるまちをつくる

| | |
|--|---|
| 目標1 | 妊娠・出産・子育てを支えるまち【重点】 |
| 市民が安心して妊娠・出産・子育てできるように、産前の相談機会の提供や支援、面接や訪問等の産後ケア事業を拡充するとともに、各種サービスの周知方法の拡充を行います。 | |
| 施策例 | しっかりサポート面接、赤ちゃんがいる家庭への訪問、妊産婦健診、乳幼児健診、子育ての相談やサービス部門との連携強化、オンライン申請できる手続きの追加・充実、デジタルツールを活用した各種サービスの周知等 |

| | |
|--|--|
| 目標2 | からだの健康を支えるまち |
| あらゆる世代の市民の健康増進を図るため、健康づくりに取り組む市民の支援、手法を見直しながら健康づくり・感染症予防・口腔の健康維持に関する普及啓発の拡充や、がん検診・健康診査のより効果的な受診勧奨を実施します。 | |
| 施策例 | 保健衛生に関する情報誌の作成、健康づくり推進員の活動支援、成人健康診査の実施、かかりつけ歯科医の推進、がん検診の実施、感染症に関する正しい知識の普及啓発、デジタルツールを活用した定期予防接種等の情報発信等 |

| | |
|--|--|
| 目標3 | 食で健康を支えるまち【重点】 |
| バランスのよい食事をとる、朝食をとる習慣を身につける、1日の野菜摂取量を増加させるといった市民の食習慣を整えるため、年代、性別、生活環境及び健康状態に対応した普及啓発、食体験事業を拡充します。 | |
| 施策例 | 妊産婦への健康教育、子どもやその保護者を対象とした食体験事業、地域における食育活動、市内給食施設への巡回指導、デジタルツールを活用した普及啓発等 |

| | |
|---|---|
| 目標4 | かけがえのないいのちを大切にすまち【重点】 |
| 総合的な自殺対策の更なる推進・強化のため、普及啓発を拡充するとともに、若年層や課題を抱える女性への支援の充実や、速やかに適切な支援窓口へ繋ぐ取り組みを実施します。 | |
| 施策例 | 若年層対策の更なる推進、課題を抱える女性への支援の強化、相談窓口情報等の分かりやすい発信等 |

◆基本目標2 どんなときも安全・安心な生活ができるまちをつくる

| | |
|--|---|
| 目標1 | 必要な医療情報が必要な時に見つけられるまち |
| 市民が必要な時に医療機関を適切に受診できるように、情報発信を行います。また、安心して医療機関を受診できるように、相談対応などを行います。 | |
| 施策例 | かかりつけ医を持つ意義、救急医療、在宅医療等に関する情報発信、町田市医療安全相談窓口における相談対応等 |

| | |
|--|--|
| 目標2 | 新興感染症や大規模災害に対応できるまち【重点】 |
| 今後の新興感染症に備えるため、新型コロナウイルス感染症等の経験を踏まえて、新型インフルエンザ等行動計画の改定や予防計画の策定に取り組みます。また、災害時において医療体制を維持するために市が行う対策や、市民が行うことのできる備えについて、普及啓発を行います。 | |
| 施策例 | 新型インフルエンザ等行動計画の改定、災害時の医療体制に関する情報発信、発災時において医療救護活動を円滑に行うための訓練、人工呼吸器等医療機器使用患者が被災を避けるための入院の仕組みづくり等 |

| | |
|--|---|
| 目標3 | 安全で衛生的な生活環境が整っているまち |
| 市民の安全で衛生的な暮らしを確保するため、市民・事業者への普及啓発、事業者に対する監視指導や立入検査等を継続的に実施します。また、人と動物との調和がとれた地域社会の実現に向け、市民の動物愛護意識や適正飼養に関する普及啓発を行います。 | |
| 施策例 | 食品関係事業者及び市民に対する普及啓発、生活衛生関係営業施設に対する計画的な立入検査・指導、動物の適正飼養にかかる啓発の推進、環境衛生に関する研修会等 |

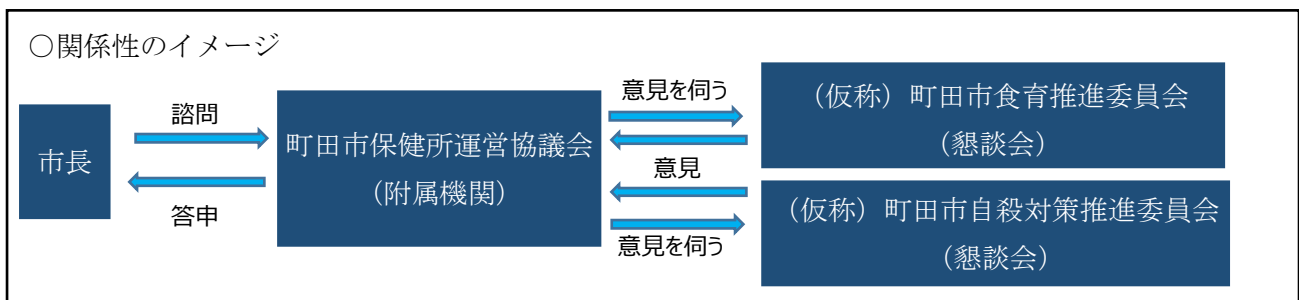
6 計画の策定・推進体制、スケジュール

(1) 計画の策定・推進体制

◆町田市保健所運営協議会

計画の策定や進行管理を行うため、学識経験を有する者、保健医療関係者などの保健・医療の各分野に係る有識者に加え、市民委員で構成する協議会を設置しています。協議会は、保健医療施策を円滑、かつ計画的に推進するとともに、本市における保健医療施策に関して総合的な見地から意見交換を行う附属機関です。協議会は、本計画策定にあたり、市長から諮問を受け、答申を行い、市から各施策の進捗状況について、報告を受け、効果的・効率的な事業展開が図れるよう意見交換を行います。

また、保健所では、食育及び自殺対策の推進を目的とする懇談会を設置しています。今回、計画統合に伴い、懇談会の名称を整理し、「(仮称) 町田市食育推進委員会」と「(仮称) 町田市自殺対策推進委員会」とします。さらに、2022年4月に、計画の統合に向けて各懇談会の会長を新たに協議会の委員としても委嘱することで、懇談会で出された意見や課題を協議会にも反映できる体制を整えました。



◆保健所内作業部会

計画策定を円滑かつ効果的に進めるために作業部会を設置し、保健医療意識調査結果の分析や、次期計画の方向性、施策内容等について、検討しています。

作業部会委員：保健総務課、健康推進課、保健予防課、生活衛生課の係長級職員

※ 庁内関連計画との整合性を確保するため、福祉総務課（地域ホッとプラン）、いきいき総務課（いきいき長寿プラン24-26）、子ども総務課（新・子どもマスタープラン）等とは個別に調整を行います。

(2)スケジュール

| 年度 | 月 | 策定手続等 | 内容 |
|------|-------|-------------|--|
| 2022 | 6 | 町田市保健所運営協議会 | ・ 市民意識調査の内容の確認 |
| | 8 | 市民意識調査 | ・ 市民意識調査の実施 |
| | 11 | 町田市保健所運営協議会 | ・ 現行計画の進捗報告 ・ 市民意識調査の結果速報 ・ 次期計画の体系図案の報告 |
| | 今後の予定 | | |
| | 3 | 町田市保健所運営協議会 | ・ 次期計画の方向性の確認 |
| 2023 | 7 | 町田市保健所運営協議会 | ・ 次期計画素案の確認 ・ パブリックコメントの予定報告 |
| | 12 | 行政報告 | ・ パブリックコメントの実施報告 |
| | 1 | パブリックコメント | ・ 次期計画素案について |
| | 2 | 町田市保健所運営協議会 | ・ パブリックコメントの結果報告 ・ 計画策定の答申 |
| | 3 | 行政報告 | ・ パブリックコメントの結果報告 ・ 計画策定報告 |